

駒澤大學 禪研究所年報

第 6 号

目 次

【公開講演会】『正法眼蔵』を私にかく考える……………古田 紹欽（ 1 ）

百丈清規の研究

—「禪門規式」と『百丈古清規』—……………石井 修道（ 15 ）

禪思想批判について……………松本 史朗（ 55 ）

道元在宋中の参学行程に関する諸問題(上)……………佐藤 秀孝（ 93 ）

駒澤大学禪研究所現況……………（ 122 ）

駒澤大学禪研究所規程……………（ 124 ）

The Twelfth Century Caodong Tradition as the Target of Dahui's
Attacks on Silent Illumination……………モルテン・シュルター（ 162 ）

1995年3月

駒澤大學禪研究所

一九九五年三月

駒澤大學禪研究所年報

第六號

駒澤大學禪研究所

ANNUAL REPORT OF THE ZEN INSTITUTE

No. 6 March 1995

Contents

- Public Lecture: My View on the *Shōbōgenzō*
Furuta Shōkin, Director of Matsugaoka Bunko (1)
- A Study of *Baizhang qing qui—Ch'anmen qingshi* and *Baizhang qu qing qui*—Ishii Shūdō, Professor, Komazawa University (15)
- On Criticising the Zen Thought
Matsumoto Shirō, Associate Professor, Komazawa University... (55)
- Problems concerning Dogen's Journey for the True Dharma during his stay in Sung China (1)
Satō Shūkō, Associate Professor, Komazawa University (93)
- The Current Situation of the Zen Institute, Komazawa University ... (122)
- The Regulations of the Zen Institute, Komazawa University (124)
- The Twelfth Century Caodong Tradition as the Target of Dahui's Attacks on Silent Illumination
Morten Schultter, Lecturer, Victoria University (162)

Edited by
ZEN INSTITUTE
KOMAZAWA UNIVERSITY
SETAGAYA-KU, TOKYO

「編集後記」

▽『駒澤大學禪研究所年報』第六号をお届けいたしました。本号には巻頭に、松ヶ岡文庫長古田紹欽先生の公開講演記録「『正法眼蔵』を私はかく考える」を掲載することができました。これは、恒例の達磨忌に因み、一九九四年十月五日に、「現存する道元禪師の『正法眼蔵』全巻を講了して」と題して行われた御講演を、新たに改題して御寄稿いただいたもので、横浜のカルチャーセンターで行われていた『正法眼蔵』の御講義が全巻講了されたのを機会に、その感懐を披瀝されたもので、多くの新しい問題が発掘提起されて、変わらない学問への情熱と若々しい姿勢をお示しいただきました。ここに厚く御礼申し上げますとともに、益々の御健勝を祈念致します。

▽ほかに、石井修道・松本史朗・佐藤秀孝の各先生にも、それぞれ新しい角度からの提言を含む、興味有る玉稿をいただきました。また、研究員としてイェール大学から石井修道先生のもとにいられていたモルテン・シュルター氏にも、帰国に当たって、テーマとなつた大恵宗杲の黙照禪批判に関し御寄稿いただきました。ここに併せて御礼申し上げます。

▽前号(第五号)において始めて企画し実現した、「特集・道元禪師入宋時代の宗教と社会と文化(一)」を、本号でも継続して掲載したかったのですが、御多忙な先生方ばかりで、次回以降の課題となりました。すでに定例研究会で御発表いただいた先生もおられ、次号では是非ともおまとも頂きたく、本欄を借りてお願い申し上げます。

▽「書評」「新刊紹介」についても、本号では取りあげることが出来ませんでしたので、これも今後の課題として運営委員会に図りたいと考えております。

▽駒澤大學禪研究所のスタッフについては、一九九五年度より、法学部・外国語部・保健体育部より御参加頂くことが決定されたので、今後は規定の見直しや研究会の充実、研究所の運営の活性化などについて、大いに議論し、改めるべきことは改めていただきたいと思ひます。

▽最後に、『駒澤大學禪研究所年報』六号をお手元に届けるのが大変遅れましたことを、心よりお詫び申し上げます。

(編集係 石川力山)

駒澤大學禪研究所年報 第六号

一九九五年三月三十日 印刷
一九九五年三月三十一日 発行

発行者 駒澤大學禪研究所
東京都世田谷区駒沢一丁目三番一号
電話 〇三〇三四〇 九五七〇(所長室)
〇三〇三四〇 九二二六(仏教学部)
代表者 鈴木 格 禅
印刷所 (株) 中台 整 版
東京都千代田区飯田橋二一一二